

英語科学習指導案

東大阪市立 柏田中学校 教諭 吉井 大地

ALT Leann Sumi

1. 指導日時 平成26年 1月 30日 (木) 第6時限目 (14:30~15:20)
2. 指導学級 2年3組 (30名)
3. 使用教材 三省堂 NEW CROWN ENGLISH SERIES 2
4. 単元名 Lesson 7 Good Presentation
5. つけたい力 本単元で学ぶ比較級、最上級を用いて、2つの情報を比較してプレゼンテーションを行うことが出来る。
6. 単元目標
 - ・比較級、最上級の用法を理解し、活用する。
 - ・情報を視覚的に伝えることに関心を持つ。
 - ・情報を効果的に伝えることについて考える。
 - ・与えられた情報を既習した用法を用いてプレゼンテーションを作成し、発表することが出来る。

7. 単元について

(1) 生徒観

全体的に落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組むことができ、積極的に発言する生徒も見られる。一方で、学習に意欲的に取り組むことが難しい生徒、英語学習について苦手意識が強い生徒もいる。日ごろから書くことに課題が見られる為、定期テストなどで自分の考えや気持ちを伝えるといった自己表現の問題や英作文等に取り組む機会を増やしている。また、発話に関しては全体的に声を出すことを苦手としている。今後は発話の機会を増やししながら、生徒の意欲を高めていきたい。

(2) 教材観

本単元では、様々な情報について視覚的表現を用いて比較している。文法事項だけでなく情報を視覚的かつ効果的に伝える技法を学び、クラスで人気のあるものなど様々な情報について調査し、発表させることができる教材だと感じる。文法面では、比較級、最上級、同等比較、副詞の比較級が使われており、その使い方に習熟する単元でもある。

8. 技能と評価

評価する主な技能	■話すこと ■読むこと ■聞くこと □書くこと
評価する主な観点	■コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ■外国語表現の能力 ■外国語理解の能力 ■言語や文化についての知識・理解
評価する主な方法	ペーパーテスト評価・・・定期テスト ポートフォリオ評価・・・ワークシート パフォーマンス評価・・・プレゼンテーション

9. 単元の評価規準

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ. 外国語表現の能力	ウ. 外国語理解の能力	エ. 言語や文化に関する知識・理解
①間違ふことを恐れず積極的にプレゼンテーションや対話に取り組んでいる。	①本単元で学習する文法事項を含むインタビュー結果を集計し、グラフや表を利用しながらプレゼンテーションすることができる。	①本単元で学習する文法事項を含むプレゼンテーションを聞いて、その内容を聞き取ることができる。	①本単元で扱われた単語・表現についての知識を身につけている。

10. 単元の指導と評価の計画（全9時間）

時	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法
1	比較級(-er)の用法を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 比較級(-er)の用法を理解する。 比較級(-er)の理解を深めるためにパターン練習する。 比較級(-er)を用いて英文を作る。 	エー①	<ul style="list-style-type: none"> ◎定期テスト ○ワークシート
2	最上級(-est)の用法を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 最上級(-est)の用法を理解する。 最上級(-est)の理解を深めるためにパターン練習する。 最上級(-est)を用いて英文を作る。 	エー①	<ul style="list-style-type: none"> ◎定期テスト ○ワークシート
3	本文の内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 比較級(-er)と最上級(-est)の用法に慣れる。 教科書本文を意味理解する。 本文をチャンクごとに理解する。 内容についての質問に答える。 	ウー① エー①	<ul style="list-style-type: none"> ◎定期テスト ○ワークシート
4	比較級(more)と最上級(most)の用法を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 比較級(more)と最上級(most)の用法を理解する。 比較級(more)と最上級(most)の理解を深めるためにパターン練習する。 比較級(more)と最上級(most)を用いて英文を作る。 	エー①	<ul style="list-style-type: none"> ◎定期テスト ○ワークシート
5	本文の内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 比較級(more)と最上級(most)の用法に慣れる。 教科書本文を意味理解する。 本文をチャンクごとに理解する。 内容についての質問に答える。 	ウー① エー①	<ul style="list-style-type: none"> ◎定期テスト ○ワークシート
6	同等比較と副詞の比較級用法を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 同等比較、副詞の比較級の用法を理解する。 同等比較、副詞の比較級の理解を深めるためにパターン練習する。 同等比較、副詞の比較級を用いて英文を作る。 	エー①	<ul style="list-style-type: none"> ◎定期テスト ○ワークシート
7	本文の内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 同等比較、副詞の比較級の用法に慣れる。 教科書本文を意味理解する。 本文をチャンクごとに理解する。 内容についての質問に答える。 	ウー① エー①	<ul style="list-style-type: none"> ◎定期テスト ○ワークシート
8	様々な情報について調べ学習を行い、プレゼンテーションを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた情報の調べ学習を行う。 比較級、最上級、同等比較を用いてプレゼンテーションと原稿を作成する。 	イー① ウー①	◎プレゼンテーション原稿の提出
9 (本時)	前時に作成したプレゼンテーションの発表を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 比較級、最上級、同等比較を用いてプレゼンテーションを行う。 	アー① イー①	◎プレゼンテーションの発表
後日	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> 比較級、最上級、同等比較を用いた文の構造についての理解をみる問題。 	エー①	◎定期テスト

11. 本時の学習

(1) 本時の目標 ジェスチャーを交えて、プレゼンテーションをすることが出来る。

(2) 本時の指導計画

時間	生徒の活動	指導上の留意点	評価規準 評価方法
<p>挨拶 (2分)</p> <p>前時の復習を兼ねた Warm up (10分)</p> <p>プレゼンテーション練習 (8分)</p> <p>プレゼンテーション発表 (25分)</p>	<p>英語での挨拶。</p> <p>○教師のデモンストレーション JET と ALT があるテーマについて 2 択のショートプレゼンテーションを行う。 生徒は本時に自分たちがプレゼンテーションを行うことを意識して、デモンストレーションを観察する。</p> <p>○本時に活用する比較級、最上級をフラッシュカードを用いて確認する。 ○グループになり前時に作成したプレゼンテーションの練習をする。</p> <p>○プレゼンテーションを行う。 全て 2 択がある 4 つのテーマについて、それぞれのグループでどちらの選択肢を支持するかプレゼンテーションを行う。それを聞いた ALT がより説得力のあった方を決め、選ばれたグループが勝ち。</p>	<p>英語での挨拶を行う。</p> <p>・選択肢を写真と文字でスクリーンに表示する。 ・デモンストレーション後、質問文の意味を確認する。</p> <p>・机間支援をしながら、生徒の発音指導や見本を見せる。</p> <p>・発表者がプレゼンテーションをしやすいように、聞いている生徒の姿勢に対する指導に気を配る。 ・生徒のスピーチに対するコメントを丁寧に行う。</p>	<p>○各プレゼンテーション ・積極的にプレゼンテーションや対話に取り組んだか。 ・比較級、最上級、同等比較を用いた文章を活用して、プレゼンテーションに取り組んでいたか。</p> <p>○振り返りシート</p>
<p>本時の振り返り (5分)</p> <p>挨拶</p>	<p>○本時の振り返りシートを記入する。</p> <p>英語での挨拶。</p>	<p>・机間支援をしながら振り返りシートを完成できるように指導する。 ・振り返りシートを回収する。</p>	